



福岡歯科大学総合歯科学講座 総合歯科学分野

Section of General Dentistry, Department of General Dentistry, Fukuoka Dental College

総合歯科の主な特徴としては、1人の担当医が、う蝕・歯周病治療、補綴処置、口腔外科処置等を一口腔一単位としてとらえ、総合的な治療を行うことが可能です。そして将来、かかりつけ医としての役割を担うことのできる歯科医師の育成を目指しています。

また、近年の歯科患者の動態に関連して、今までの診療に加えて成人の口腔機能の予防管理および周術期口腔管理や入院患者の口腔機能管理等、現代の歯科医療に適合した診療体系を整えるようになりました。

臨床教育

- ・臨床研修医や若手医員を対象に月に2回、総合歯科学分野の教員、臨床教授、准教授によるセミナー・実習を開催しています。診査・診断・治療計画、歯内治療、歯周外科、歯冠補綴、インプラント実習など、臨床で必要な技術や知識を系統的に幅広く学ぶことができます。
- ・毎週症例検討会を行い、臨床の技術の向上に努めています。
- ・チーム医療の推進に取り組んでいます。



臨床セミナーの様子

臨床

- ・軽度から重度まで、総合的な治療が予想される症例に対して診療を行っています。
- ・Er-YAGレーザー、炭酸ガスレーザー、歯科用顕微鏡など最新機器を利用して診療しています。
- ・本学および近隣急性期病院に入院中の患者さんの口腔機能管理や、一般外科の癌手術や、化学療法を行う患者さんに対して、術前・術後の周術期口腔管理を行います。
- ・口臭クリニックでは、最新のガスクロマトグラフィーで検査し専門的な口臭治療を行っています。



周術期治療における口腔ケア



口臭クリニックで使用する機器



レーザー機器

研究

基礎から臨床まで、幅広く研究を行っています。大学院生も活躍しています。

「口腔と全身性疾患」を対象とした臨床に繋がり応用できる研究が主です。

主な研究テーマ

- ・口臭と口腔内細菌叢の関係
- ・口臭と全身性疾患との関係
- ・プロバイオティクスを応用した口腔内環境の改善
- ・全身疾患と口腔の健康に関する研究
- ・S-PRGフィラーと口腔内細菌が及ぼす影響
- ・循環器疾患に関与するイオンチャネル群の解明など



2014年度に発表された論文